

家庭で暮らすことができない子ども

里親制度の本市の取り組み状況は

問 さまざまな事情から家庭で暮らすことができない子どもを支援する里親制度について市の取り組み状況を聞く。

答 本市は平成29年度からあかし里親100%プロジェクトを掲げ、全28小学校区で里親登録と里親を必要とする乳幼児の里親等委託率100%の早期実現に向け取り組みを行っている。現在、里親登録のない4校区については、里親制度を知ってもらうた



全28小学校区に里親登録を

小学校給食の充実を 現場の声も聞きながら 量や質の確保に努める

問 小学1年生の学校給食の量が少なく感じている。現状を把握し、十分な量や良質な給食を提供しないか。

答 本市が提供する小学校給食は、学校給食摂取基準に基づき、児童

障害や発達上の特性を抱える子どもを迎えた里親家庭には、市が里親登録前から子どもを迎えた後まで、きめ細かく対応する。また、

障害等への理解や対応等の研修、一定の養育経験を有する専門里親に虐待など専門的ケアが必要な子どもの受け入れをお願いしている。

問 バス共通寿優待乗車証は提示すると市内の乗降1回に付き現金120円で利用できる制度だが、ICカード等を使用すると定額の支払いになるため、差額返金制度や国の補助制度を利用し、デジタル化を実施しないか。

答 同乗車証は70歳以上の市民に交付している。返金制度の創設については、利用者や乗降場所等の特定が困難なため、導入は難しいと



70歳以上の市民に交付

バス共通寿優待乗車証 デジタル化への対応は 費用や運用面が課題

考える。今後は同乗車証交付時の案内文書を分かりやすく見直し、広報紙や市ホームページ等で丁寧に利用方法を周知する。

同乗車証のデジタル化は、利用者の利便性向上や利用実態の把握が可能となるなど、利用者と市の双方に有益であるが、バス事業者や市のシステム改修など費用面の課題やICカード等に不慣れな高齢者の対応など運用面の課題がある。導入については国の補助制度の動向を注視していく。

海のまちの安全安心 命を守るライフジャケット レンタルステーションの設置は

問 平成24年に愛媛県西条市で5歳男児が亡くなった川遊び事故の裁判では、保育園側がライフジャケットを装着させておく義務が認定された。海のまちである本市として学校等にライフジャケットを貸

答 し出すレンタルステーションを設置しないか。ライフジャケットの着用は、小型船舶に乗船する場合に着用義務が定められている一方、海水浴や砂浜・磯浜で遊ぶ人への着用を義務化した法規制はない。

しかし、本市においては大蔵海岸の2つの大きな事故を踏まえ、安全安心は非常に重要なテーマと認識している。現在、大蔵海岸の自然観察センターでは、安全に磯浜の自然観察や生物観察が行えるよう、無



水難事故防止へ啓発活動を

空き家対策の取り組み

民間団体との連携を検討

問 行政だけでは解決が困難な空き家対策について民間団体と連携することへの市の見解は。

答 空き家対策は、建築、不動産、法律など各専門分野の対応が必要であり、行政だけで行うことは困難である。これまで、空き家の適正

管理を所有者に促す取り組みの中で、除却工事の進め方や相続問題などに対し、民間団体等への相談を促し問題解決した事例がある。昨年開催のNPO法人主催の空き家対策セミナーには多数の市民の参加があり、関心の高

さと民間ノウハウ活用の有効性を認識できたことから、今年度は市主催の空き家対策セミナーを開催予定である。今後は民間団体等との意見交換や情報共有を進め、空き家の利活用の推進や適正管理の啓発活動等、協力・連携が可能な取り組みを整理し、将来的には官民協定等を視野に入れた民間団体等との連携の可能性を検討する。

議会ポスターデザイン決定

「市民の皆様が明石市の未来を決める市議会への関心を高め、より多くの方に議会の傍聴に来ていただけるようなデザイン」をテーマに、市内に在住または、在学・在勤の人から年4回の議会開催をお知らせするポスターのデザインを募集しました。

34人の方から応募があり、全議員で選考し、優秀賞4点を決定しました。

令和7年6月議会



兵庫県立明石西高等学校3年
三木 遥香さん

令和7年9月議会



兵庫県立明石西高等学校2年
中山 京香さん

令和7年12月議会



兵庫県立明石高等学校3年
丸子 優奈さん

令和8年3月議会



兵庫県立明石高等学校2年
瀬井 美琴さん